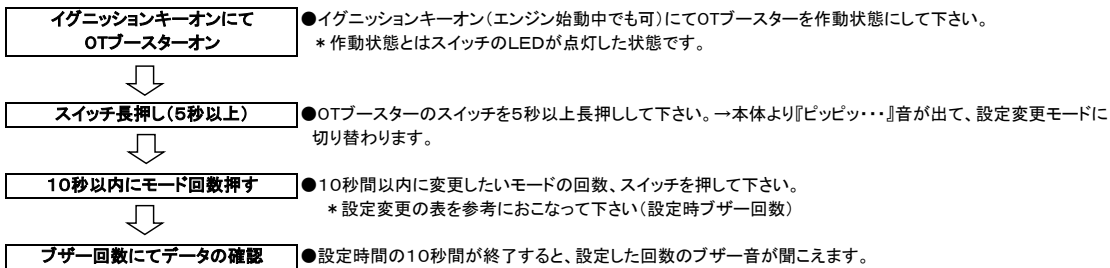


設定変更

- OTプースターは下記の3つのモードを選択出来ます。 * 初期状態は**モード1**になっています。下記手順によってモード変更が可能です。
* モード1はアクセル操作にてノーマルスポーツ→パワープラスの3段階の設定が可能です。

設定表	モード内容			設定値	
	フィーリング	ブザー音	備考	設定時に押す回数	設定後ブザー回数
モード1	スムーズ～強烈	無/有	フルオートモード	1	1
モード2	スムーズ	無	スポーツモード	2	2
モード3	強烈	無	パワープラスモード	3	3

<設定変更手順>



トラブルチェック



警告 エマージェンシーモードに入り、エンジンが吹けあがらない状態になった場合は大変危険です、車両を安全な場所へ一旦停車させ、エンジンを停止し1～2分後にOTプースターをOFFの状態にて再始動させて下さい。

<LEDが2回点滅を繰り返す>

- 初期設定が出来ていません。初期設定をやり直して下さい。

<エンジンを停止させてもLEDが消えない>

- 最近の車両は電子化により、数多くの電子機器を使用しています。エンジンを停止してもそれらの電子機器に蓄電された電圧が落ちるまで時間がかかります。長いものでは、20分程度かかる車両もあります。しばらく消えないのは正常です。

<アイドリング不調>

- 初期設定不良の可能性がありますが、初期設定を再度おこなって下さい。
- 取り付け作業時にバッテリーをはずしてしまった時はアイドリング学習が必要です。カーディーラー等にて確認して下さい。

<エンジンチェック点灯、吹けあがらない>

- キースイッチを抜いてから、完全に電源が切れる前に作業をおこなってませんか？(完全に電源が落ちてから作業をおこなって下さい)
- カブラーの接触、挿入方向を再確認して下さい。
- エンジンルームにもアクセルセンサーと同形状のカブラーがあります。エンジンルーム内のカブラーに接続した場合、正常に作動しません。
* 必ず車内のアクセルセンサーのコネクターへ接続して下さい。(一部車両はエンジンルームにカブラーがあります)
- 装着車両を変更した時は必ず<初期設定>をおこなって下さい。

<エンジンチェックの消し方 応急処置>

- エンジン始動 ⇄ 停止 を3回～4回以上繰り返す
* 停止時はエンジンを停止させてから10～20秒おいてからエンジンを再始動させて下さい。
* 応急処置後、必ず専用機器にてリセットをかけて下さい。
- 上記方法にてチェックが消えない場合はカーディーラー等の専用機器のある工場にてエンジンチェックランプを消してもらって下さい。

他オプションの紹介

レスポンスプースターFAは別売オプションパーツが選択出来ます。

- ①リバースハーネス FA01(税抜き¥1,000)必要
 - リバースギヤに入れた時に急発進防止の為、アクセル開度を最大20%に抑える機能です。この機能作動中にスイッチを押すことによりこの機能はキャンセルされノーマル状態になります。
 - 取り付けは車両のバックランプの電源線へ配線するか?リバース信号(リバースギヤにした時に12v発生)に接続する必要があります。説明書には一部車両の信号位置しか記載がない為、ご自分でリバース信号位置を探していただく必要があります。
- ②アイドリングストップキャンセルハーネス FA02(税抜き¥1,000)必要 * 注意! プラスコントロール車は必ずFA02P(税抜き¥1,500)を使用して下さい。
 - エンジンを始動した時にアイドリングストップモードから始まる車両を、アイドリングストップ解除から始まるように作動変更することが出来ます。
- ③パワースタートハーネス FA03(税抜き¥1,000)必要
 - エンジンを始動した時にノーマルモードもしくはエコモードから始まるドライブモードの車両を、常にパワーモードより始まるように変更することが出来ます。
 - 取り付けは車両のパワーモードスイッチの信号線へ配線する必要があります。
- ④スイッチ FA04#(税抜き¥3,000)
 - 車両のサービスホールに収まる各種スイッチを用意してあります。

